



ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007



自転車・歩行者
交通安全教室



助けあう
家庭と地域を
創造しよう

大府公民館まつり



子供ギネス大会



ゴーカート



花いっぱい運動

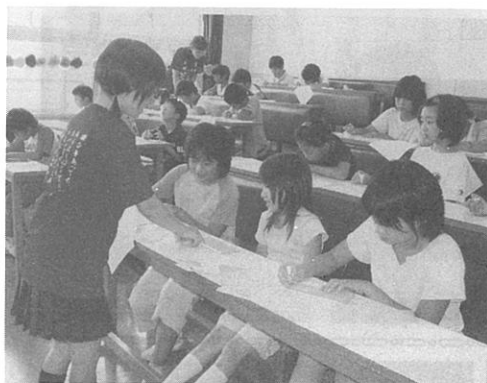
きる社会

世代間交流を通して

ガイドヘルプ体験をして
 大府小五年 近藤志保里
 私たち五年生は、九月十三日に桃陵高校の文化祭を見学しに行きました。私は、ガイドヘルプのコーナーで、目の不自由な人の体験をしました。最初に目かくしをしたら、とても不安でした。特に、段差がある所と細い道がこわかったです。目が見えない人は、こんなにもこわい思いをしていたんだとあらためて思いました。これからは、目が不自由な人や体が不自由な人たちになるべく親切にしたいと思います。



楽しかった桃華祭&桃花祭
 大府小五年 深谷弘進
 桃陵高校の文化祭を見学しました。まず、点字体験をしました。点字を打つのはむずかしうだなと思ったけど、打つてみたら思ったよりかんたんで、とてもおもしろかったです。「あいうえお」などを打ちました。高校生の人たちが教えてくれたので、ちゃんとできました。ほかに、まちがい探しやお手玉、スタンブラリーなどをしました。いろいろなコーナーがあった、高校生はすごいなと思いました。



私たちにできること
 大府小五年 鈴木摩耶
 私は、目の不自由な人の体験をしました。暗やみがこんなにこわくておそろしいとは思いませんでした。このおそろしさが一生続くと思うと、気がとおくなりそうでした。ならば、なにをすればいいのか、考えました。それは、例えば、目じるしになる点字ブロックの近くを歩かない、自転車などを置かないことだと思っています。この思いやりを持って生活していけば、とてもいい社会になると思います。

写真上
ガイドヘルプ体験

写真左上
点字学習



開設記念式典が桃陵高校体育館で行われました。1年生24名と桃陵高校衛生看護科40名、生活福祉の半年間ですでに両校の生徒が交流関係を築き、絆を深めていることが披露されました。この生徒が桃陵高校の文化祭（桃華祭）に参加し、桃花校舎の生徒による桃花祭にも参加が実現し、交流活動も3年目をむかえ、毎回趣向を交え、世代間の交流は着実に前進しています。隣の小中学校、さらには地域社会との連携を深め、発展していくことが期待されます。桃陵高校の生徒が自信を持ち、卒業後も社会で活躍する人材と支援できる地域でありたいと思います。

桃華祭に招かれて
 シルバーコーラス野菊
 山田和義（78歳）
 シルバーコーラス「野菊」の一員として今年も九月十四日の「桃華祭」に参加させて頂きました。生徒さんの合唱は教科学習の時間をぬっての練習の為練習も充分でなかったと聞いていましたが、心に響く見事なハーモニーでとても感動しました。桃陵高校各クラス生徒さんの合唱、桃花校舎生徒さんの合唱、何れも甲乙つけ難くみんな素晴らしい内容でした。思わず目頭が熱くなったくらい、こんな思いをしたのは幾年振りのことと歳を忘れた一時でした。野菊のステージは練習途上の歌でよくありませんでしたが、真剣に聴いて頂き頼もしい若いエネルギーと反応のよさで盛り上げて貰いました。これからもこんな「ふれあい」を通して新たな感動を私達に与えて下さい。素直な生徒さんが、社会に出られ立派に活躍される事を期待し、精一杯のエネルギーを送ります。

学校間交流を通して

ともに生

桃陵・桃花をつなぐ友達の輪

桃陵高校生徒会長

三年 山内理紗

今年度から桃陵高校に半田養護学校桃花校舎が併設され、四月には対面式、六月にはスポーツ交流会が行われました。九月の学校祭では、Wピッチ・桃陵・桃花をつなぐ友達の輪というテーマを掲げ、文化祭、合唱祭、体育祭の三日間を共に作り上げました。

桃花生の有志で結成されたバンドの発表では、歌や楽器演奏など一人ひとりの特技や個性が生かされていて、とても素晴らしいと感じました。体育祭では、競技を通じて喜びや悔しさを分かち合いました。

私はこの学校祭がきっかけで桃花生の友達ができました。そして今、その『友達の輪』は広がっています。

「高校、すごく楽しい。でね、桃陵の友達ができてからはもっと楽しくなった！」
その言葉を聞いた時、私はとても嬉しくなりました。

校門も
写真右
新しくなりました。



みなさんは、写真に
存じでしたか。

今年の4月より、桃陵桃花校舎が開設されまじように社会の一員とできる社会をめざす」念の実現に向けて作らの空き教室を利用した養護学校生徒のために、花校舎のような分校は、

桃花校舎 一年 大河原裕子
九月十四日には大府市役所で合唱祭がありました。私は、『この星に生まれて』を歌いました。このうたはみんなが夏休み中から練習しました。だから、とても上手に歌えると思っていました。でも、ぶたに上るときはドキドキしました。ぶたいの上から、たくさんのお客さんが見え、歌い終わったとき、礼をしたらたくさん拍手が聞こえました。私は、ほっとして気持ちになりました。みんな一生けんめい練習したから、拍手をたくさんもらえた気がしました。

文化祭

桃花校舎 一年 大浦良美
初めての文化祭をやりました。最初は展示コーナーの担当をしました。お客さんもいっぱいきて大変だったけど、やってみて楽しかったです。桃陵の人たちも来てくれてうれしかったです。私がうれしかったことは「おいしかったよ」と言ってくれたことです。クッキーを作って楽しかったです。やってみて楽しかったです。お客さんも来てくれたので本当にうれしかったです。またやりたいです。



桃陵高等学校

昭和40年大府高等学校衛生看護科として創立。
昭和43年現在の桃陵高等学校となる。
平成12年生活福祉科が新設される。
平成14年衛生看護科が五年一貫教育となる。
1学年生活福祉科40名、衛生看護科40名、計80名の生徒が在籍。
衛生看護科については卒業後さらに2年間専攻科で学ぶ。

近年の養護学校高等部進学者の増加に伴い、半田養護学校高等部の分校として桃陵高校内に桃花校舎が開校された。

半田養護学校

昭和53年創立。
知的障害児の教育を行っている学校で、主に知多半島全域の五市五町より児童生徒が通学している。
社会自立に向けて生き生きと生活する力や働く力を身につけるために、小学部(137名)・中学部(100名)・高等部(180名)計417名(H18年度)の児童生徒が学んでいる。

去る10月21日に、桃花校舎のこの4月に桃花校舎に入学した福祉科40名の新1年生が出席し、きながら、お互いを尊重しあう。昨年度より半田養護学校高等部になりました。桃陵高校と大府小こらした内容で盛り上がり、桃陵高校、桃花校舎ともに、強めながら、地域に開かれた学校。花校舎の生徒のみなさんが、いられるように、温かく見守り。

あの人の人 花井宏基さん

— 桃山町 —

今回登場していただきますのは、(株)花井組の代表取締役をしていらっしゃる花井宏基さんです。

幼少時代には父親の経営する会社の従業員の人達と一緒に食事をしたり、時には入浴をともにすることもあったそうです。外見はとてもこわそうな顔をしている人もいたけど、やさしい人達ばかりで、よくかわいがってもらったとのこと。子ども時代のおとなとの交流が貴重な人生経験になったそうです。

大学卒業後、父親の会社ではなく、自らの意志で(株)竹中土木に就職を決意し、約七年勤務。広島や横浜への転勤を経験しながら、大きなトンネルやダムを造りたいという夢を実現しました。大府に帰って来てからは、(株)花井組に入り、二年後には大府商工会議所青年部に入会。地域の先輩が声をかけてくれたり、つつじまつりに参加したりする中で、年配の人たちが裏方に徹しているのを見て感心し、自分もがんばらなければと思ったそうです。

五年後には、大府青年会議所(JC)にも入り、地域の為にボランティア活動をしようにという気持が強くなって

いったとのこと。特に環境フェスタのたちあげに尽力されました。しかし、当時、学校は、総合学習が行われる前でなかなか理解が得られず、やっこの思いで二校に協力してもらいました。企業の参加やフリーマーケットへの市民参加が徐々にふえていく中、行政にも味方していただけるようになりました。

(本郷・橋本光代)



大府あれこれ 伝統行事 熱田神社の おまんと祭り

JR大府駅から東へ歩いて約十五分のところに熱田神社(朝日町)があります。

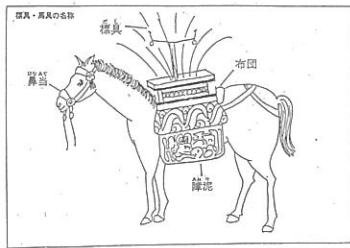
この祭りは、五穀豊じょうを願うのと、娯楽を楽しむためのものといわれています。



これは四百年前から伝わる行事。神社境内に丸太を組んでつくった高さ二メートル、一周百メートルの馬場の中に背に鈴などをつけた飾り馬を一頭ずつ入れ、白装束に法被姿の若者が馬に飛びかかり、口綱を取って馬と人が一体になって走り抜ける伝統行事。

馬は古来から神の乗り物として伝えられており、昔から神事や祭礼には馬が登場しています。その中心になるのが献馬(飾り馬)です。献馬のことをオマントと呼び、馬を担当した頭人(馬頭人)から来た言葉といわれています。

オマントは村の氏神と特定の社寺へ奉納する二種類あり、大府では馬を柵の中で走らせる氏神だけの祭りで



ろろまでは大府、

あとかた、